

旧大久保本陣母屋（西光寺庫裏）について

大久保本陣の歴史的経緯について

慶長 5～18 年（1600～1613）に播磨国領主池田輝政の時に大久保町に本陣が設けられる。

万治 2～延宝 7 年（1659～1679）には「本陣 安藤助太夫」「脇本陣 林屋与兵衛」の名が見える。

明治 3 年（1870）に本陣や脇本陣が廃止される。

本陣跡は一時村役場となる。

明治 45 年（1912）に取り壊され、門は東東光寺の山門に移築され、母屋は西脇の西光寺に移され、現在庫裏として利用している。

今後、西光寺の庫裏の実測等の建物調査を行い、江戸時代の本陣の残存状況を確認する。

西脇西光寺

開基は奈良時代の僧恵弁と伝えられ、北の丘陵にあった報恩寺の塔頭の一つであった。天正 7 年（1579）の羽柴秀吉の三木攻めの際、焼き討ちに遭い全焼。文禄元年（1592）了法上人が再興。宝永 6 年（1709）本堂再建。山門は平成元年（1989）に改築。本堂を令和 2 年（2020）に改築。



西光寺庫裏（本堂から）



大久保本陣より移された庫裏



欄間